

一般貨物自動車運送業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	9～10	宅急便の配達に伺った際に、玄関スロープが昨夜からの降雪によって凍結していることに気付かず、足を滑らせ転倒しそうになり、右手を伸ばしたところに玄関のガラス戸があり、ガラスが割れたことによりガラスの破片が手のひらにささり、切創するに至った。	34	50～99
1	10～11	作業中強風が吹いてきたため車両後部観音扉を閉めようとした際、突風にあおられ数メートル飛ばされ転倒してしまい、肘・右足・顎をアスファルトに打ちつけてしまった。	58	30～49
1	0～1	製品を荷台に積み込む作業中に、第三者が被災者の額まで降ろしていたのに気づかず、荷台から出ようとしたが、シャッターが下りていることに気が付かず、頭部を打撲した。	36	10～29
1	16～17	帰社後、車庫にてトラックの荷台上の積荷の上に乗し、杭抜きの作業をしていたところバランスを崩し、不安定なまま飛び降りたところ、右足の踵から着地し痛めた。	55	10～29
1	16～17	引っ越し作業中、荷卸が終わり片付け作業で荷台の荷物を助手席に乗せるため4tトラックの助手席にあがり、再度片付け忘れを確認しに行こうとして助手席から降りる際、左足から降りたが足を突いたときに左足を負傷した。	35	10～29
1	11～12	構内で、トラックに簡易トイレを積みロープの固定が済み、降りようとして、右側のアオリに足をのせ手を添えて、地上に飛び降りたが着地でバランスを崩し、仰向けの状態で倒れ、近くにあったパレットと積まれた敷板に背中を強打した。	46	1～9
1	10～11	運搬作業中、ベッドの床板（重さ6キロ程）を1人で持って階段を下りていたところ、誤って最後の1段を踏み外し、左足を捻ってしまった。	49	10～29

1	5~6	構内にて、荷物をベルトコンベアに載せる作業をしている最中に、鉄板のような重量物を置いた際に、荷物とベルトコンベアの間に右手中指を挟んでしまい、左手中指骨折を負った。	21	300 ~ 499
1	8~9	工場内にて荷下ろし作業中に、トラックの荷台から下りた際に、車止めの上に着地した為、足を骨折してしまった。	59	—
1	18~ 19	30kgくらいの荷物を3階へ運んでいる際に足場が確認できず、不安定な状態で足が着地したために、足を滑らせ、捻るように足を着き、右足関節前距腓靭帯損傷を負った。	25	—
1	21~ 22	荷卸先で荷卸し中、荷物上にあつた養生用品を下に置いた際、荷物の上から降りるときに養生用品を置いた上に降りてしまい、左足を捻ってしまった。	43	30~ 49
1	20~ 21	ホーム上で、荷物の仕分けを行っていた際、荷物を手に持ちロールボックスパレットに積み込もうとしたところバランスを崩し、右足首を捻ってしまった。	21	500 ~ 999
1	7~8	荷物のボックスで荷物を降ろした時、ゴムストッパーの上に左足をまっすぐ乗せたがバランス崩して足首をひねってしまった。	25	1~9
1	1~2	路上で納品作業中、トラックの荷室から降りる際に地面の段差部分に着地してしまい、右足首を捻った。	47	100 ~ 299
1	8~9	倉庫内にて、荷物の積込完了後、荷台にシートをかける作業を行った。シート前方を上につ張り上げるため、シートに付けてあつたロープをキャビン後方から体重をかけて引っ張つた所、ロープが切れてその反動で倒れ、燃料タンク上部の物置台の角に背中を強打し、地面に転落した。原因は、シートに付けてあつたロープが劣化していたため、体重をかけた際に切れたことにある。	43	100 ~ 299
1	6~7	事務所に書類を提出するためトラックを降りる際、降りる足元を確認せずに跳び降りたため、アスファルトと土の境に足がついた時にひねってしまい、骨折した。	43	30~ 49
1	8~9	営業所構内にてロールボックス整理中、貧血でふらついて、ボックスに足を引っ	24	50~

		掛け倒れてしまい、その際にボックスの角で顎を打ち、3針縫合した。		99
1	15~ 16	集配中、台車集配コンテナから荷物を取り出す際、集配コンテナの角と胸部を打ちつけ、右胸部肋骨1本を骨折した。	64	50~ 99
1	15~ 16	工場にて、リーチリフトに乗車し荷卸し作業中、リーチリフトを後進させている時に、後方の壁に衝突した。その衝撃で左足をリフト外につき、後輪部分に巻き込まれ骨折し、転倒した際に臀部も強打し骨折した。	31	100 ~ 299
2	16~17	顧客先にて納品の為、車輛指定位置に後退して駐車した。商品（弁当類）を台車に積む為荷台に乗り、後方へ移動作業後、車輛ステップを利用し、後向きで荷台から降りた際、駐車場の車止め用のブロック角に、左足の甲をぶつけ負傷した。痛みや腫れはあったが、業務を終了し帰社する。	50	1~9
2	9~10	取引先の敷地内にて積み降ろしの作業中に、風で飛ばされたEPスペンサー（緩衝材）が地面に落ちているのに気付かずに、トラックの荷台（約1m）から後ろ向きに飛び降りた際、EPスペンサーの上に着地してしまい右足首を捻ってしまった。	43	—
2	11~12	物流センター仕分け場において、店舗出荷用のクレートを仕分けエリアに補充するため運搬していたところ、コンベアーライン際のガイドの支えの出っ張りを目視確認しなかったことで左手の甲をぶつけてしまった。湿布をし、作業を再開したが、痛みが再発したため病院でレントゲンを撮り、亀裂骨折と診断された。	45	50~ 99
2	19~20	社内倉庫内にてトラックに配送物を積み込む作業中、高さ70cmの荷台に飛び乗ったところ、着地に失敗して右足をひねり、同時に右ふくらはぎに肉離れを起こした。	46	—
2	9~10	敷地内において荷卸しの作業中、傾斜面に停車した印刷物専用車輛車庫内からジョルダーを使用し製品を外へ出す際かけていた棒のピンが外れ身体が後ろへ大きく転びその際、後頭部をかばった為、肩の左側、首、肘を強く打ち負傷したものである。	53	10~ 29
2	15~16	中央店駐車場にて納品を済ませ、空番重を荷台に載せた後、自分も荷台に乗ろうとした際に右足をステップ、左足を荷台にかけたところ角で滑り膝下内側をドアフック部分のつめに当て負傷した。（靴の裏が濡れていたため）	60	30~ 49

2	9~10	配送した積荷を配達先において、荷卸作業後車両を移動し、県道の車両待避場で荷台の整理清掃のため運転席から降りようとしたところ、左足が十分にステップ（高さ52cm）にかからなかったため足を滑らせ、地面に落ち左前脛腓靭帯を損傷した。	44	50~ 99
2	19~20	本社駐車場内において、トレーラーヘッドとシャーシの連結作業をしている時、荷台内の資材等を確認したのち接続状態確認の為、輪止めを約50cm横に置いた後、乗車して接続確認を行った。確認完了後、車両より前向きにて降車を行った為、約50cm横に置いてあった輪止めの上に着地してしまい足を捻ってしまった。	39	30~ 49
2	14~15	Eヤードにおいて、陸送車よりNo.3番の商品車を下ろす作業中、一旦下に降りようとした際、陸送車の足置場から足を滑らし、不安定な姿勢で地面に着地した時、右足アキレス腱を断裂負傷したものである。	31	10~ 29
2	11~12	配達先納品終了後トラックの扉を閉める時、歩道の段差を踏み外し右足首を捻挫した。	52	1~9
2	20~21	出張中、業務を終え当社事務所から駅にある宿泊先ホテルへ行くために駅へ向かい歩いていたところ、駅前にある店舗出入り口付近の急な段差に体のバランスを崩し、足首をひねり骨折した。落差は、舗装されているところとないところの境目であったが、一見落差があるようには見えず、気付かなかった。	32	10~ 29
2	13~14	水路工事現場で、トラックの荷台にユンボで鋼材を積み込む作業をしていて、ユンボのバケットに吊すため鋼材に引っ掛けてあるクランプを外そうと、鋼材の上に乗って移動したところ、バケットに頭部をぶつけ、ずれたヘルメットで鼻頭を打ち、首に衝撃を受けた。後ろにのけ反って倒れそうになったので、倒れないように体を支えようとして、足首を捻った。	53	1~9
2	6~7	構内の給食牛乳下ろし場で、牛乳納品後、空箱を車に積み込み荷台の整理後、車から降りるのに車から飛び降りた際に右足かかとを骨折した。	68	30~ 49
2	10~11	道路路肩にて待機中、納入先（客先）に大型トレーラーが多く納入する時間帯なので客先の手前でシートをめくる為荷台で作業中スキットに躓き商品（コイル）に左膝が当たり5針縫った。	39	1~9

2	7~8	得意先で荷卸し終了後、荷台の上を整理中、A4サイズの紙のリストを拾おうとした際、バランスを崩し荷台から飛び降り着地した際、右膝を負傷した。	59	300 ~ 499
2	10~11	客先でミニローラーを積み込み中、ミニローラーが動き出した為、慌てて車両から飛び降りた際に足を捻って怪我をした。	48	1~9
3	13~14	積込作業中、トラック荷台と平行に設置された作業台上で足がもつれてバランスを崩してしまい、あおりに右脇をぶつけた衝撃で全体重（105kg）が右脇に掛かり負傷した。	44	10~ 29
3	8~9	トラックの荷台で荷物を一番後ろからおろそうとしたとき、荷台前方へ動いてしまった荷物を取ろうとジャンプをして取ろうとしたところ、手前の荷物の角に肋骨をぶつけた。	42	300 ~ 499
3	17~18	会社の冷蔵庫内で、被災者がフォークリフトで商品の移動作業中に、通路の反対側から接近してきたフォークリフトの発見が遅れ、すれ違いができるように通路をあけようとして急にハンドルを切り、レバー操作を腕で行っていたことで右腕がフォークリフト本体から出ており、右腕上腕部を保管用ラック柱とフォークリフトヘッドガードピラーで挟んでしまい、右肘を挫傷した。	19	100 ~ 299
3	13~14	当社倉庫内にて荷台の上で積荷の荷下ろし作業の準備中、はずした固定用荷締機に気づかず踏んでしまい、右足首をひねり負傷した。	52	30~ 49
3	14~15	荷卸し先で大型ダンプ運転席から降りる際、運転席を背に前向きで左手はドアの内側取手を掴み、右手は運転席右脇にあるダンプレバー下の取っ手を掴んで一段目のステップを左足、二段目のステップを右足で踏んで、地面には左足から着地しようとしたが、水たまりがあり避けようとしたところ、左足首を捻って負傷した。	37	50~ 99
3	23~24	夜間の荷降ろしのあと荷台から飛び降りたとき、暗くて下が見えず荷締めに使用していた角材の上ののってしまい、靭帯損傷を負った。	49	1~9
3	18~19	帰宅時、自社第1車庫にて、フレコンパックを整理していたときにフレコンパックから飛び出していた釘が左手に刺さった。	53	50~ 99

3	11~12	トラックの荷台で積込作業中、雨で荷台が濡れていたため、足を滑らせて地面に着地するとき、右足踵を負傷した。	54	30~ 49
3	18~19	サッシ配送用の荷馬に右膝を強打したが、その後も仕事を継続していたところ、後日に痛みが強くなった。	42	30~ 49
3	5~6	積荷降ろしの作業中に2段積みで仮置きされた出荷パレットの下段のパレットを検品するために、フォークリフト作業員に上段パレットを下ろす作業をしてもらった。その際、上段パレットをフォークリフト作業員が持ち上げ後退してきたことに気づかず、後方にフォークリフトが旋回した際にパレットが腰部に接触し負傷した。	51	1~9
3	16~17	トラックでの引越作業を終えて、後始末で運転席で乗り降り中、不自然な姿勢で降りた際、体のバランスをくずし、左足関節を強く捻挫した。	27	10~ 29
3	8~9	構内の車庫に入庫中の4t積トラックの荷台上で、隣のトラックの荷台に養生材の毛布等の移動作業中、隣の荷台（巾約50cm）へ飛び移り着地したとき、荷台床に左手小指を強く打ち負傷した。	39	10~ 29
3	20~21	営業所に出勤後、胸が苦しくなり救急搬送をされ、頸椎損傷の診断を受けた。直接の原因が不明であったが、後日に被災者から、配達先の敷地内の歩行中、張られていたロープに気が付かずロープが顔に引っ掛かり、尻もちをつく形で倒れたが、その場で少し休んだところ体が動くようになったと申告があった。	50	100 ~ 299
3	13~14	個人宅への配達業務中、宅配先の玄関の段差を足元不注意により踏み外し、左足首の靭帯を損傷した。	21	10~ 29
3	15~16	地上高1.6mあるトレーラ荷台上で鋼材を移動させる為にバールを使用していたとき、鋼材が移動したと同時にバールに大きな荷重が加わり、体勢を崩した。危険を感じたので咄嗟にトレーラ荷台上より飛び降り負傷した。	50	30~ 49
3	10~11	現場にて荷降ろししようとしたところ、粉粒体運搬車上部のマンホール蓋よりエアが漏れていたため、セメントが吹きこぼれる恐れがあるため、再度マンホール蓋を閉めようと車輻上部へ登ろうとしたところ、段差に躓き体が前のめりになり、体を支えようと左手を突いた際、左手中指を骨折する。	43	10~ 29

3	21~22	乗務を終了し、トラックにて当社駐車場に帰庫した。荷室内を整理した後、当該トラックのテールゲートリフター天板上から地上に飛び降りた際、踵を強打した。	55	30~ 49
3	14~15	当社資材置場に於て、高床トレーラーの荷台にクレーンで資材積み込みをしていた時、吊り荷に気をとられ、玉掛ワイヤーに取り付けていたシャックルに気付かず、ヘルメットシャックルが当たり、慌てて荷台上から飛び降りたが、荷台端部にはスタンションロープが取り付けられていた為、ロープに弾かれ荷台側面で体を打ち負傷する。	55	1~9
3	12~13	荷下ろし後に本社にて給油後、トラック荷台を整理しようとした時に、荷台上のバールを踏み左足を負傷した。	45	10~ 29
3	9~10	倉庫内にて入荷商品を格納場所までフォークリフト（リーチタイプ）にてバック走行で移動中、後方確認を怠った為、進行方向に設定されているネステナー（ポータブルラック）に衝突し、腰をネステナーに強打し、右骨盤を骨折した。	54	100 ~ 299
3	7~8	当日配達する荷物の仕分けをしている時、2t車の荷台から降りるとき、着地時に右足首を捻って外顆骨折となる。	31	50~ 99
3	9~10	引っ越し先で積み込みする前に、同じ場所で引っ越し作業をしている業者がいたため、とりあえず待機しようとトラックを止め下りようとした時にバランスを崩し、足の甲の外側からつき骨折した。原因は現場のアパートが狭かったため車が通れるスペースをとろうと思い、山側の方にトラックを寄せ過ぎてトラックから下りようとしたとき、狭過ぎてバランスを崩し、右足の甲を骨折した。	39	50~ 99
3	6~7	作業のため車庫内にある車を移動させようと運転席に乗車したが、何かを思い出して降りたところ、近くに立て掛けていたタイヤの中に左足が入り込み、そのまま転倒して足首が逆折れした。	50	30~ 49
3	19~20	配達に行くため車を駐車し、120サイズ位の荷物を持ち、車外に降車する際、社内の階段を左足で降り、右足で地面に足をついた。その際、5cmの段差に気付かず、右方向にバランスを崩し、足を捻挫した。	51	30~ 49
		トラック荷台内で荷降作業をしている際、コンパネ板で仕切っていた奥へ荷物が		

3	11~12	入った。その荷物を取り出すためパレットに積んでいた高さ60cmくらいの鉄製の荷物を足場にして取り出したあと足場から降りるとき、パレットの辺に右足が引っ掛かり、足首を捻挫した。	32	10~ 29
3	7~8	構内にて重さ390kgの木枠の商品をフォークリフトで運んでいた際、サイドブレーキを確実に引いておらず、また商品を地面に着地させないままフォークリフトから離れてしまい、フォークリフトが自走し、追いかけて停止させようとフォークリフトの前方に行ってしまう、商品の木枠が左足に接触し負傷した。	59	30~ 49
3	10~11	配送業務のためバスで走行中、木の枝がトラックのキャビン上に当たったので路肩に車を止め、雨漏りがしていないか確認するため運転席から上に登ろうとしていた。右足の靴を脱ぎ、座席に足をかけ、キャビンの上に登り確認し降りようとする際に運転席のドアが閉まってしまったため、荷台につかまりゆっくり飛び降りた際、靴を履いていない右足踵を骨折した。	39	30~ 49
3	15~16	営業所で荷降ろす際、荷箱最後部の長尺物荷物を降ろそうとした時、天候が雨だった為、荷箱最後部の地面が少し濡れており、左足が滑り荷物を流す為のベルトコンベアの角の鉄枠で左足を打撲し、そのまま荷卸し場のホームに倒れ込んで、左足をベルトコンベアのホーム側土台に固定している鉄枠で打撲した。	25	30~ 49
4	7~8	積荷の空オリコンを他の車両に移し替えしようと、空オリコン（折りたたみコンテナ）を持ちながら前方を向き、荷台より降り着地した際に右足を捻り、くるぶし付近の骨にヒビが入った。	58	100 ~ 299
4	16~ 17	荷扱い中、積載車上で横に移動する際に左足を踏み外し、柱に左肩を強打し負傷した。	42	30~ 49
4	18~ 19	置き場車庫にて、作業に必要な用具等をトラック荷台に積み込む作業をしていた。車庫の屋根上においてある用具等を、労働者が、トラックの荷台にいる当事者に手渡しで積み込む作業中に足元のバランスが崩れ、トラックの荷台にいた当事者が飛び降りて負傷した。	65	10~ 29
4	8~9	営業所内で積みのチェックをしている時、チェックがおわり荷物を見ながら荷台から降りる際、地面に段差があるのを見ていなかったため降りた時に足をくじいた。	42	50~ 99



4	13～ 14	マンション2階のお客様宅へ配達に行った時、普段はエレベーターを使用するが急いでいたため階段で上がろうとした際、前方の確認不足により、階段の飛び出ている踊り場部分に激突し、頭部を裂傷した。	58	50～ 99
4	14～ 15	洗車時にステップから降りるとき、左足のひざ上部をステップとステアーに強打した。	57	30～ 49
4	10～ 11	荷室内で荷物を持ち、後ろ向きに右足をステップに乗せ、左足をステップに乗せようとしたが踏み外し、ステップ滑り止め突起物で左膝を強打した。	35	10～ 29
4	11～ 12	仕分け作業時、ラックに格納されている商品を取り出し、後退して頭を上げた際に頭頂部をラックにぶつけ、ムチ打ちとなった。	23	300 ～ 499
4	11～ 12	車庫内で4tトラックの荷台で作業が済んだので、下へ降りようとして少し下の段差がわからなくて安全くつ着用していたが足首を捻った（とび降りた時）ようになった。	40	30～ 49
4	15～ 16	集荷先に到着後、車輪止めを行うため、運転席側のドアを全開にして、右側前輪に車輪止めを行うためかがんで実施した後に立ち上がったところ、右ドアが半開き程度まで戻って来ていた為、右肩関節部にドアの下部が接触し受傷した。	37	10～ 29
4	18～ 19	配達時、アパートへ駐車して2階の配達先へ向かう途中、左腕で荷物を持ったまま段差につまずき、右腕からアパート階段入口へぶつかり右腕を負傷した。	48	30～ 49
4	16～ 17	店の倉庫内で、配送した長さ約4mの焼き杉の束を釣り上げる為にロープを掛け、釣り上げた時に邪魔にならないように荷台から降りた所、倉庫内が薄暗く床にりん木がある事に気付かず、着地の際にりん木で足を捻り、右足首を骨折した。	44	50～ 99
4	16～ 17	当社倉庫内において、飼料袋（500kg）をフォークリフトで車に積む作業中、倉庫内の横棧上に載って積込の補助をしていた時、横棧から当該袋の上に飛び降りた際（高さ約1m）にバランスを崩し、パレット上に落下して（高さ約1m）、背骨を負傷した。	42	10～ 29
4	11～ 12	二階建てアパートの二階へ配達に行き階段を下りている時、右足を着地した際に右足底内側と外側の靭帯損傷した。	35	30～ 49

5	10～ 11	米を助手と二人でトラック車上でパレット5枚に210袋はい積をしていた。4枚終了し、5枚目に移動した時にボデーに敷いてあるパレットから足を踏み外し左足首を捻った。	49	～ 299	100
5	6～7	荷卸先で大型低床平ボディ車の積荷（角パイプ）の荷卸し作業中、荷台に上がって積荷に掛けられた養生ビニールシートをはがすため、ブルーシートの上に右足を置いたところ右足が滑り、バランスを崩して転倒しそうになり、左膝部位を角パイプに強打した。	48	～ 99	50～
5	7～8	被災者は作業現場で移動のため走り出したところ、柔らかい山砂の上に上がったため、ズルズルと右側に傾き、横倒しとなってしまった。運転席側のドアが下になったことで、右側のドアから脱出できず、左側のドアは重くて動かせなかったため、前面の窓を開けて脱出した。運転席から脱出した被災者は、バックハウから飛び降りた時、たまたま硬い地盤の所に着地したため、両足踵を損傷した。	36	～ 299	100
5	23～ 24	営業所内の倉庫にて、通常業務である積荷商品の差し替え作業中に、無理な体勢で商品を取ろうとしたため、誤って商品を入れる鉄製のパレットに、腹部をぶつけてしまった。	51	～ 299	100
5	8～9	搬入材料を足場越しに2階に上げていた。荷物を持って立ち上がった時に、足場に顔面をぶつけ、メガネを壊し、眼球と目の下を負傷した。	47	～ 29	10～
5	8～9	敷地内において4tトラックからフォークで荷降ろし作業をしていた際、フォークをトラック後方につけ、ツメが上ったままになっていた。それを忘れてしまいジョルダーで荷物を引っ張ったところ、そのフォークの爪に尾てい骨を強打し骨折してしまった。	45	～ 49	30～
5	20～ 21	4tウイングボディトラックから荷物を下ろしている作業中に、高さ1メートル程の荷台から飛び降りた際、踵を強く打ってしまった。	49	～ 99	50～
5	11～ 12	配達先の階段を上がろうとした際、雨天で階段・靴が濡れていた為、足元が滑って踏み外し、左向こう脛を階段に打ちつけた。	64	～ 49	30～
5	15～ 16	配送中、配達先で階段の先にエレベーターがあり、畳んでいた台車を持って上がったところ台車が何かに引っ掛かり、台車の台の部分が左脇腹にぶつかった。	58	—	—

		当初は痛いぐらいだったが、日を追うごとに悪化していった。		
5	12～ 13	客先の構内にて納品していた際、作業が昼にかかりそうだったので急いで3tトラックの荷台から降りようとした時、後方のおおりの止め金具部分に左腕（肘の近く）を強打した。止め金具（チェーンでおおりを吊る箇所）で腕がえぐれ負傷した。	38	10～ 29
5	12～ 13	被災労働者は、配送先センターで積み込み作業が完了したため、プラットフォームから地面に移動しようとし、地上差1.2mの高さから前方に飛び降りて左足を負傷した。	59	50～ 99
5	2～3	納品先の店舗へ納品後、路上駐車中の車両庫内にて空バCCANを片付けたあと、荷台から飛び降りた際に右足を挫いた。帰社後は痛みもなく管理者等に報告はせずに退社したが、その後に痛みが出て、骨折と分かった。	45	50～ 99
5	14～ 15	荷物を4tトラックに積み込み後、荷物をベルトで固定し、荷台より（荷台から地面まで約1mの高さ）アスファルトの平らな地面へと飛び降りた際に左足に痛みを感じた。トラック走行に大きな支障がなかったため勤務を続けたが、その後、痛みが増した。	39	30～ 49
5	12～ 13	トラックの荷台から降りる際に駐車場の輪留めの上に乗リ、足を捻り負傷した。	50	100 ～ 299
5	15～ 16	荷物積み下ろし作業を終了し、当社駐車場内に10tトラックを停止させ降車する際に誤って身体のバランスを崩し、転倒を避けようと地面に左手をついた時、左手首を負傷した。	60	1～9
5	11～ 12	搬入口とコンテナ位置が近く、その間に毛布とダンボールを敷き作業をしている際、コンテナから段ボールを持ち降りた時に足が滑り、トラックのステップに左肘をぶつける。	19	30～ 49
5	14～ 15	取引先事務所の前で、コンクリートミキサー車を止め、車両後部（ホッパー）を清掃していた際に、車両が少しずつ動き出したので、車両から飛び降りて右足を負傷した。	65	10～ 29

5	19～ 20	会社敷地内でトラックの荷台に配送する製品の積み込みをし、シート掛けの作業を行う際に誤ってバランスを崩し、荷台のアオリ部分で右足太もも部分を強打した。当初はそれほど痛みはなかったが、徐々に痛みが増してきた。	61	10～ 29
6	14～ 15	弊社荷主の工務店倉庫内にてトラックへの荷物の積み込み作業中に、移動を試みて荷台側方より飛び降りた際、両足で着地したが、右足の踵を負傷した。	34	1～9
6	3～4	荷積み中にトラックを移動させる為、60cm程の高さの荷台から地面に降りようとして着地の際、左足首を負傷した。	60	30～ 49
6	15～ 16	配送先の配達を終えて車に戻る際、納品ホーム（約75cm）から飛び降り、着地を失敗して足首を捻ったものである。	41	100 ～ 299
6	20～ 21	店舗納品終了後、回収物（空カゴ等資器材）を降ろしに行った際、車両荷室より荷降ろし作業を終了し、車両ゲート上からアスファルト地面に飛び降りた時、誤って右足首を捻り、捻挫したものである。	61	100 ～ 299
6	14～ 15	H棟のコンテナから飛び降りた際に、着地先に駐車場のタイヤ止めがあり、それを踏みつける形で着地し、足首を捻った。	24	30～ 49
6	11～ 12	取引先にて医療ケースの積み込みをしてもらってる際、荷台にいた被災者が、作業が終わった後に荷台の上から約1.3m下に飛び降り、足首を捻ってしまった。	49	30～ 49
6	21～ 22	3階にあるお宅へ配達する為、階段を上がっている際、右足を着地した際に捻ってしまった。当日は、力が入らないなどの違和感を感じる程度だった為、業務を続けていた。翌朝、右膝が曲がらない等の痛みがあり、病院を受診したところ、右膝靭帯損傷で全治1週間と診断された。	49	100 ～ 299
6	13～ 14	積込先に集荷に向かう途中のコンビニ駐車場で、自分のトラック荷台の備品整理を行い、荷台より降りる時に、右足が備品の角に引っかかり、咄嗟に飛び降りた時に左足を損傷したものである。そのまま仕事をして、しばらくしても痛みが引かない為、病院で診察を受けたところ、骨折と診断されたものである。	65	30～ 49
6	17～ 18	当社駐車場において、ダンプの洗車をしている際に、運転席側の梯子を下から二つ目の段まで降りた時に、手が滑って地面に滑り落ち、足から着地したものの後	51	10～ 29

		方に転倒し、その際に臀部及び頭部を強打し負傷したものである。		
6	6~7	事業所内にて、車両荷台で積込作業を行い、荷台から降りようと、後方のステップに右足で降り、次に左足を地面に降ろしたところ、左膝に激痛がはしり、左膝外傷性関節炎、左膝関節捻挫と診断された。	56	50~ 99
6	11~ 12	クレーン車庫で16tクレーンを納車している時、雨が降ってきたため急いで屋内に戻ろうとし、高さ1.6mあるクレーンハウスから梯子を使わず飛び降りた際、右足のくるぶし下を負傷した。	59	30~ 49
6	20~ 21	車を停めて荷物を持ち、車の助手席側の階段から下りようとしたところ、足を滑らせて倒れそうになった為、咄嗟にダッシュボードに右肘をついた。そのまま翌日も仕事をしていたが、右肩が痛くなり動かせなくなった。右肩関節捻挫であった。	56	50~ 99
6	19~ 20	構内にて、重さ約800kg程のキャスター付クールボックス（縦110×横110×高さ210）をトラックに積み込んだ後、トラックの荷台において積荷を整理する為、既に積み込まれていたクールボックスの縁を押さえつけていた左手が、搬入したクールボックスとの間に挟まり、左手中指を骨折し、左手薬指骨を欠損した。	58	10~ 29
6	19~ 20	1F仕分け作業場において、集約発送作業中に、仕分け吊り紙をシューターに取りに行くため、歩く距離を短縮しようと、停止中の仕分けコンベアーの上を歩いた際に、伝票読み取り機に額右側をぶつけた。	19	100 ~ 299
6	1~2	出勤してトラックに乗車しようとした時、足を滑らせてドアの内側に右脇腹が当たり打撲した。	53	10~ 29
6	14~ 15	ホームからトラックの荷台に乗り込む際、隙間に足を落とし負傷した。	37	100 ~ 299
7	16~17	薬局へ納品する荷物をトラックより荷降しのため荷台パレットの上にあがり荷降しを終了したので、荷台より降りる時にパレットの角に右足をひっかけて右下腿を裂創した。	19	50~ 99
7	13~14	トラックで納品の際、荷降しが、おわり荷台より降りる時バックヤードの段差に	30	50~

		つまずき、右足第5中足骨にひびが入った。		99
7	8~9	ホームにて台車からトラックに荷物を2人で積み込む作業中に、荷物を持ち上げ前進した際に、足元の台車に右足を激しく接触させた。この時、足元は見えていない状態であった。	48	100 ~ 299
7	19~20	ラック1段目の中で荷さばき作業中、体をラックの中に潜り込ませて作業していた。作業後、体を外に出そうと体を起こす際、後頭部をラックの梁に強打した。	50	100 ~ 299
7	15~16	トラックの荷台で作業中、足を滑らせて左足をパレットに強打し裂傷を負った。	46	50~ 99
7	9~10	4Tトラックの荷台にて荷降しをする際、ベッドマットレスの上ののっている物をとろうと脚立にのって届かなかったため、直接マットレスの上によじ登り奥から手前まで出してきた。そしてマットレスから飛び降りる時、ベタ足で着地してしまい、腰に負担がかかり痛めてしまった。	50	50~ 99
7	18~19	倉庫の2階で作業後、梯子を使用して1階へ下りる際、地面まであと1段で着くと勘違いし、3~4段上から降りてしまったため、左足のかかとを骨折及び左足首を捻挫してしまった。	48	10~ 29
7	22~23	店舗内で納品のため、カゴ車を車両荷台からゲートリフターを使って降ろしていた時上昇途中のゲートリフターに飛び乗ろうとして、右の膝から太腿にかけてを強打した。	46	10~ 29
7	10~11	雨が降り始めたため、荷物を積んだカーゴを移動していたところ、周囲にいた協力会社社員が手伝おうとしてカーゴ車を動かした際に移動させたカーゴとサッシ窓枠の間に手を挟み右手甲を負傷したものである。	52	100 ~ 299
7	19~20	支店の構内で家具類の梱包作業を終えて、梱包した家具類に貼付する伝票が接車バースに駐車してあったトラックの助手席に置いてあったために伝票を取りに行くためにプラットホームから降りる時に階段を使用せずに階段の無い所から、飛び降りてしまい駐車してあったトラックの後方扉に付いているレバーに左側腹部を強打してしまい左側腹部肋骨を骨折してしまった。	48	100 ~ 299

7	8~9	被災者は6tのユニック車に、ブルーシートに包まれた鉄筋を前日に積み込み、顧客先でその鉄筋を降ろすため、荷台に降り鉄筋にバンドを掛け、移動しようとブルーシートに足を掛けた時、ブルーシートが濡れており誤って足を滑らせ、その際左膝を荷台にぶつけてしまった。その後、荷台から降りようとした時、左膝を庇いすぎ誤って転落し、臀部を打ち負傷したもの。被災者は、元々足に障害のある者。	56	10~ 29
7	7~8	新工場内で、商品納入時に商品を両手で持って、搬入のため歩行中に少しの段差で足を捻った。	51	10~ 29
7	11~12	取引先に到着し、路上駐車にて停車後、納品予定の完成品を荷台から降ろそうと左後輪に足をかけた。その際に、タイヤの上で足を滑らせ、左足を挫き、すねの筋肉の挫傷と左足ひざ骨折を負った。	52	1~9
7	17~18	ダンプ置き場において、ダンプの荷台の端から荷台の雨除けシートをかけなおしていたところ、足場が滑りやすかったのでシートにつかまっていたが、その手が滑りダンプの荷台から飛び降りるような形になり着地した。その際に右足のかかとから降りたため強打して負傷した。	50	30~ 49
7	16~17	トラックの荷台から地面に降りる際地面に置いてあったレバブロック上に誤って降りたため足をひねり骨折した。	41	100 ~ 299
7	20~21	4階躯体スラブ上で、4階型枠建込作業のため4尺脚立の2段目に乗っていたが、脚立の足元付近に墨出し用穴が、あったため脚立の足が穴にはまり、バランスを崩し左足よりスラブ上へ着地した際に被災した。	37	100 ~ 299
7	9~10	中央卸売市場の現場内で生コンクリートの荷下ろし後、ミキサー車の上部を洗車し降りた時に段差で左足を挫いた。	64	10~ 29
7	20~21	BT車に乗りピックアップをしている時、操作を誤り止まっていたリフトのつめ先に足が接触。安全靴を履いていたが側面が当たり、左足裏部分を切り、皮がめくれた。	37	100 ~ 299
7	20~21	トラックターミナルにて、荷下ろし作業中、荷台から降りる際、左足首を負傷し	56	10~

		たもの。		29
7	10~11	倉庫で、積み込み作業の準備のため荷卸し場に停車後、トラックのシャッターが完全に開ききらない状態で乗り込み、荷室の中のラッシングバーに頭部をぶつけた。	41	30~ 49
7	7~8	当社乗務員が、2トン車をホームに接車後、積込作業中、荷台上から手をついてホーム下に降りた際、うまく着地できず、右足のつま先が内側に向くような形になり、転倒。診断の結果、骨折となる。	41	10~ 29
7	9~10	台車にて配達に向かう際、下り坂を下ろうとした所、台車に積んでいた荷物がバランスを崩し、荷物の落下を防ごうとした所、手が滑り離れてしまい、追いかけた所、車両に接触、その台車が自身の膝下部に接触した事故である。	26	50~ 99
7	8~9	車両への積み込みを行うため、荷物を両手で持ち車両と車両の間を通ったところ荷台のドアに左手がひっかかり爪がはがれてしまった。	35	30~ 49
7	15~16	トラック運転席より降車のため、ドアを開けた際に、灰皿が地面に落下。しゃがんで灰皿を拾い、頭を上げた際にトラック運転席側ドアの下部に頭部を強打し、負傷した。	32	30~ 49
7	15~16	被災当日、工場において、トラックの荷台で鋼材製品を積み込み荷縛り作業中、誤って体のバランスを失い転落しそうになったので、咄嗟に荷台から飛び降りた時、左足踵を負傷したものである。	45	10~ 29
7	11~12	当日積込を済ませ、会社の倉庫駐車場（会社所在地に同じ）に戻ってきたが、積荷のハウスの窓（引き戸）が気になり、脚立に乗りテープで固定していたところ、バランスを崩した。脚立から飛び降りた際、左足踵を骨折した。	51	50~ 99
7	14~15	当社第2駐車場において、夕方積み込み作業の件で同僚と言い合いになり、つかみあいの喧嘩となった。その際、もみあいになって、同僚が襟首をつかんだまま倒れこんできたため、アスファルトの地面で強く頭を打った。打った箇所になきなたんこぶができ、出血した。	53	30~ 49
7	15~ 16	トラックの荷台部より跳んで下りたとき、負荷に耐えられずに転倒して、左膝、及び右大腿骨部を損傷した。	66	10~ 29



7	10～ 11	積荷の荷卸後、荷台の後片付けを行うため場所を移動し、駐車する。荷台整理後、助手席側後方のアオリを下し後ろ向きで下りる。右足を縁石にかけようとした時、踏み外してしまい右足を挫いてしまう。	55	30～ 49
7	15～ 16	配達先敷地において、トラック荷台から飲料ケースを足元の台車に降ろす作業中、地面の段差に足を乗せた状態で荷物を移動させたところ、身体のバランスを崩し、左足の外側に重心がかかり左足小指付け根部分を負傷した。	43	50～ 99
7	12～ 13	建築現場に納品の際、階段途中の頭上に鉄パイプ（足場）があり、その手前にビニールのカーテンがあった。進入時に風でカーテンがあおられ、バランスを崩したとき、ヘルメットの脇（際）部分を鉄パイプの端に当てて、頭部を切った。	50	30～ 49
7	15～ 16	月極駐車場にて、エンジ不始動の故障車両を修理工場まで搬送するため、当該故障車両を積載車の荷台に積載し、荷台を定位置に戻すため荷台から降りる際、右下腿部を挫傷した。	65	1～9
7	10～ 11	配達先で配送作業が終り、トラックに戻る際、急に意識がなくなり、路上に倒れ頭を打ったものである。	57	30～ 49
7	2～3	自動仕分け機でキーヤーの作業をしているとき、ベルトコンベアから落下した荷物を取るためベルトコンベアを乗り越えて飛び降りた際、左膝を骨折した。	42	1000 ～ 9999
7	11～ 12	空箱を降ろすために待機していた。同僚が乗務する4t車輛の運転台の高さを確かめるために着座し、車輛から降りる際、不慣れな車輛であったために着座位置が高く、飛び降りる形となり、着地時に右の足首を痛めてしまった。	48	50～ 99
7	14～ 15	自社整備工場内で、車両下部分で仰向け状態で作業中、ネジを回そうと力強く引いたときに工具が外れ、左目を強打した。	51	50～ 99
7	12～ 13	配達業務を終え車両に戻る際、同敷地内に隣接する住宅のベランダ（高さ約1.5m）に頭頂部を強打した。	36	50～ 99
7	9～ 10	市場で、トラックの荷台から下りるときに足を捻り、捻挫だと思い、仕事が終わったあとに病院に行ったところ、骨折していた。	32	10～ 29
		被災者は、当社倉庫の前で4tトラックに荷物を積み込む作業をしていた。積み込		30～

7	7~8	み終了後、シートを掛け終わり、荷台から下りたときに、下に置いていた角材の上 上に左足が乗っかり、足首を捻り負傷した。	63	49
7	9~ 10	自社車庫内の大型ウイング車に、空ドラム缶を2段積みにしてあり、1段目と2段 目の間にベニヤ板を挟んで置いてあったドラム缶を、フォークリフトで荷台後ろ 側の2段目より降ろしていった。ベニヤ板を片付けながら、荷台前の最後のドラ ム缶を降ろし、ベニヤ板をどかさうと後ずさりしたとき、ドラム缶とドラム缶の 間に足が入ってしまい打撲した。	61	30~ 49
7	7~8	公道上で荷下ろしのため、貨物に掛かっているシートをめくる作業を行っている ときに、シートのゴムに左足が引っ掛かり、荷台貨物上でバランスを崩した。そ のままでは背面から地面へ転倒すると感じ、それを回避するため荷台上から飛び 降り、両足で着地した。両足の痛みが治まらないため、病院を受診したところ、 左足の踵が骨折していることが判明した。	35	10~ 29
7	11~ 12	ごみ収集をするために車から飛び降りたところ、右足の踝辺りに激痛がはしっ た。	37	50~ 99
7	17~ 18	倉庫内で荷卸しをしているとき、台車に右足を掛けようとした際に足を踏み外し てしまい、右足を骨折した。	46	100 ~ 299
7	12~ 13	自社倉庫内で、荷積終了後、フォークリフトを右に旋回して、停車させてからリ フトを降りたが、完全に停車操作をせずに着地したため、左足首にリフトが当た り、数針縫った。	40	100 ~ 299
7	23~ 24	センター内のコンテナ洗浄室において、高さ1.2mのコンテナ送り込みラインを停 止させた状態で、ライン枠内において清掃作業を実施後、安易な判断により床に 飛び降りたとき、バランスを崩して着地してしまい、両足のつま先に負荷がか かって負傷した。	45	100 ~ 299
7	15~ 16	配達先において、荷降ろしするために荷台に上り、重量物（ビール、飲料水）の 入ったカートラを移動中、カートラを支えきれなくなり、荷台より飛び下りたた め、左足腓腹筋を負傷した。	59	50~ 99

7	13～ 14	生コンの運搬が終了し、生コンクリート工場に帰社後、車内にて昼食をとり、弁当箱を返却するため休憩場所に持って行った。車内に戻る途中、生コン積み込み場所（高さ15～20cm）から左足を下ろした際に、3～4cm位の段差に気付かず、着地した瞬間に足首を捻った。	50	50～ 99
7	22～ 23	定温仕分室において、コールドロールボックスを移動する作業をしていたとき、進行方向を修正しようとして右足を捻ったところ、コールドロールボックスに当たって負傷した。	23	500 ～ 999
7	9～ 10	フォークリフトを使用して作業中、次の作業に移るためフォークリフトを後進させたときに、フォークリフトがオムニリフターと接触して怪我をした。	39	30～ 49
7	12～ 13	配達のため、車から30m先の配達先へ走って向かう途中、下り坂に差し掛かり、足元の不確認にて左足を捻り捻挫した。	54	50～ 99
7	11～ 12	荷主先にて積み込み作業中、上段を積む際に荷物のクッションにするためのダンボールを持って作業中、バランスを崩してトラックから飛び降りた。	35	50～ 99
7	7～8	納品先にて荷卸し作業中、ソーター上にある商品のラベル位置を確認するため、車両荷台から右足をホームに設置した際、右ふくらはぎ付近に痛みを感じたが作業を続した。帰社後、足の痛みが無くならないので病院を受診した。	54	50～ 99
7	10～ 11	トラックにて配送中、空バツカンの回収作業をしていた際に、誤ってトラックの荷台に左肘をぶつけて骨折した。	42	50～ 99
7	15～ 16	工場で加工木材の積込みを行っていたとき、荷台のサイド端に立って貨物の固定をしていたところ、貨物の一部がぐらつき、労働者の方へ向けて倒れて来そうだったので、荷台の上から地面に飛び降りた。着地した際に、両足を挫いて負傷した（左足骨折、右足軽打撲）。	50	10～ 29
7	1～2	トラックの荷台にあるパレットを後ろまで移動させ、リフトでパレットを降ろすために荷台から後ろ向きに降りようとしたところ、足が滑ってリフトの爪に脇腹が当たった。	63	100 ～ 299
7	10～ 11	本社構内において、トラックの荷台で清掃作業をしていた際、後ろ向きで移動したときに、荷台の端に足が乗りバランスを崩したため、あわてて荷台から飛び降	38	50～ 99

		り、負傷した。		
9	14～ 15	お客様出入口横のポストへメール便を配達後、ドアストッパーで躓き開いていたガラスドアに顔面を激突したものの。	38	50～ 99
9	18～ 19	郵便局に於いて、トラックから荷下ろしをする際、開いたテールゲートに上ろうとした時に誤って右膝を強打した。	37	30～ 49
9	14～ 15	建築現場に断熱材を運ぶ際に左の胸を強打した。断熱材を左肩に担いで、玄関入口に向かっている時、入口手前に中途半端に分解された足場があった。その足場は当該ドライバーの胸の高さであり、左肩の断熱材で見えず左胸を強打した。負傷後、数日間は業務を継続していたが痛みがひかない事で約1週間後に受診したところ、左肋骨にヒビが入っているのが確認された。	59	10～ 29
9	16～ 17	当社従業員は、当社構内にて荷締め作業を終了し、積荷から荷台へ降りた際、下に台木がありその台木に足がかかってしまい右足首をひねって負傷した。診断結果は右第5中足骨骨折である。	47	50～ 99
9	8～9	納品先で納品作業中、トラックのゲート部分（50cmほどの高さ）から降りる際、右足で着地し肉離れをしたものである。	48	30～ 49
9	13～ 14	営業所構内駐車場に車両を駐車し、書類を受け取る為に、降車したところ（足元を確認しないで降車）こぶし位の石の上に着地してしまい、足首を痛めてしまった。痛みが落ち着いたので、書類を受け取り長距離運行を開始、翌々日に長距離運行を終えて帰営。足首の痛みが強くなってきたので、帰宅後整骨院を受診したところ、レントゲンを撮った方がいいと言われ、翌日に整形外科を受診、レントゲンを撮ったところ。	54	30～ 49
9	9～ 10	TC投入ホームにおいて、飲料パレットのケース投入作業をしているときに、自主荷役による商品パレットがホームの端ギリギリに置かれている状態の商品をホーム側で投入開始。体勢を整える為、左足を下げたところ、バースから踏み外し、足とお尻をほぼ同時に地面へ着地（ホームから落下）した。	18	50～ 99
9	16～ 17	トラックの荷台にて奥にある荷物を取ろうと冷蔵庫の上につ伏せになる様に乗手手を伸ばした際、かけてあった足がすべり冷蔵庫の角にあばらを強打したも	33	10～ 29

		の。		
9	11～ 12	構内にて、トラックに荷物を積み込みシートを被せている時に、右足は後ろにあるステップにかけ、左足を降ろす時に近くに置いてある樹脂パレットに気付かず、左ふくらはぎをぶつけてしまった。	26	50～ 99
9	13～ 14	積込先にてタイヤを積込作業中、踏み台から降りる時に足元にあったハンドリフトの上に乗ってしまい、足を踏み外し右足首を骨折した。	45	50～ 99
9	7～8	荷卸準備の為、シートを剥ぐ作業を開始、運転席側のトラクターキャビネットからトリイの鉄枠に足を掛け、上部のシートを外し、キャビネットに降りた、その際ふらついて左手をキャビネット上についた、そのまま作業を続けシートをたたみ持ち上げた時、左手首に違和感を感じた。途中で手首が腫れてきた為、事務所に報告し、営業所へ戻り病院へ行く。	33	100 ～ 299
9	1～2	構内作業場で荷物が載った台車を移動中に、前方に荷物が載った台車があり、その台車を避けようとする際、上手く台車の軌道修正が出来ず前方の台車（トッテ部）に接触し、左手小指を負傷した。	56	50～ 99
9	16～ 17	工場内にて、トラックに製品を積み込み中、製品（側溝）の上で、足を踏み外し側溝の内側にはまった。	50	10～ 29
9	13～ 14	同僚に連絡事項を伝えるため、ショベルローダーの運転台にあがろうとして、いそぎ足でタラップの手摺りを右手でつかみ、1段目に右足を掛け次に2段目に左足を掛けようとした時、誤って左膝関節部が2段目のタラップの角に当たり、左膝関節部を打撲捻挫した。	62	50～ 99
9	10～ 11	協力会社の2t車が荷積み場所に入るため方向転換しようとしたところ、荷積み場所から別のトラックが退場中であったため、2t車はその場でしばらく待機していた、一方、被災労働者はフォークリフトに乗り、荷物を10t車へ積み込む作業担当だった。フォークリフトをバックさせた際に基本動作を逸脱し、一切後方確認をしていなかったため、本人が気づいてブレーキを掛けたが間に合わず、2t車にフォークリフトを接触させた。	57	50～ 99
		現場にてトラックの荷台で作業を行い、近くに置いてあった荷物（段ボール箱4		

9	11～ 12	箱を縛ったものを2つ積んだ箱) に手をつき荷台から降りようとした際、その箱がしっかりとしていると思い全体重をかけたところ、直ぐ崩れてしまった為、そのままトラックの荷台から落下し、頭部及び右腕を負傷した。	40	50～ 99
9	15～ 16	本社において、食品の荷卸作業中（食器36kg）、トラックのゲートがホームとの間に10cmの隙間と50cmの高低差があり、右足をホーム上に乗せ左足を降ろそうとした時、足元を見ていなかった為、左足が隙間に落ちて右足に体重がかかり体を支えたため、骨折した。	37	30～ 49
9	14～ 15	配達の為車両後方に行き140サイズ位の荷物を降ろす際、両手で押さえながら後ろ向きにてステップを降りようとした、地面が歪んでおり右足を着いた際バランスを崩し捻ってしまい、当初は大丈夫と思い集配を続けていたが、夜になっても痛みが引かずセンター帰社後支店長に報告となった、後日、靭帯損傷の診断を受けた。	48	30～ 49
9	11～ 12	営業所でオリコンを6段積んだキャリーを荷台からホームまで運搬をしている時、荷台床の溝にキャリーの車輪がハマリ、オリコンが倒れそうになったところ、左手で抑えて負傷した。	35	50～ 99
9	13～ 14	客先で1t用空袋を荷台にて整理中、空袋の吊り紐を引っ張った際、バランスを崩し地面に飛び降りた、その際、左足から着地したものの強打したことにより、左踵を負傷した。	47	30～ 49
9	4～5	ピッキング作業が終了して、ハシゴを下りる時、足を踏み外して、ハシゴのポールに左脇を強打した、その時の状況は、通常であればハシゴをつかんで降りるが、ハシゴを背面にして降りていたため、足元を良く見ていなかったものと思われる、尚ハシゴの高さは約1m50cmである。	61	—
10	10～ 11	配達先で受付手続きを行うため、入口階段を踏もうとした際に右足首を捻り負傷する。当初はそれほど痛みがなく業務を続けていたが、午後になり痛みがひどくなった。	33	1～9
10	15～ 16	大型トラックにコンクリート製品を積み終わったので、荷物締めをしていた時、足が滑り積んでいたコンクリート製品に左手首をぶつけ、体重をかけたまま倒れた。	31	1～9

10	9～ 10	店前の路上で駐車中、トラックの荷台で高積みの荷物を下ろそうと荷物を持ったまましゃがんだところ、脇に置いていた空番重に右目を強打した。	36	10～ 29
10	10～ 11	店舗敷地内において、トラックを当社従業員が運転し後進していた際、右側にあったリフトを避け、左側に移動したところ、左側にあった電柱に車体左後方が追突した。その際、助手席に同乗していた従業員が負傷した。	54	10～ 29
10	10～ 11	営業所で荷台に上がり片づけを終え、トラックを下りる際、自分の荷物を地面に落とし、その後運転席の方、ステップの2段目から後ろ向きに飛び下りた際、自分が先に落とした荷物（個人所有）の上に着地したため、バランスを崩した時に膝の上に痛みがはしり、そのまま尻もちをついた。	52	10～ 29
10	11～ 12	お客様の倉庫内で荷物を積み込んでいる最中に左足首を捻った。その後痛みはあったが、本人は働けると思い働いていたが徐々に痛みがひどくなり、足が腫れてきた。	54	10～ 29
10	11～ 12	トラックから商品を降す為ゲートを開いて荷台に登る時に右膝をゲート下の部分にぶつけてしまった。	27	100 ～ 299
10	16～ 17	大型トラックで配送を終えて帰社し整備棟の前に停車。トラックより降りる際につまずいてよろけ、整備棟の鉄柱に側頭部を強打し、頭部骨折した。	45	50～ 99
10	8～9	朝の到着荷物積み込み時、クール専用車冷凍荷台へ入り荷物を整理し、荷台より後ろ向きで降りる際、扉の蝶番にジャンパーが引っかかり、一瞬宙に浮いた状態になり、その後、ジャンパーが破れ地面に右足が着いた時に右足の甲を骨折したものの。	47	50～ 99
10	9～ 10	取引先の敷地内にて、荷物の積降ろし作業中、地面にレバーブロックをおいていた事を忘れ、トラックの荷台より飛び降り、レバーブロックの上に着地した。その際、両足がハの字となり着地したため、負傷した。痛みはあったが、そのうち治まるだろうと、仕事を続けていたが、痛みが引かなかった。	30	10～ 29
10	16～ 17	重量のある段ボールを持ち、玄関先の段差を降りる際に一步目の着いた位置が悪く、体勢を立て直そうとしたが足がもつれ足首を捻った。	22	30～ 49

10	13～ 14	資材置場内において、資材の整理整頓をするため資材を場所移動する際、トラックへ資材を積み終えた。高所作業台からトラックのキャビンへ飛び移ろうとした時、バランスを崩し転落した。その時に右足踵を負傷した。	24	1～9
10	11～ 12	会社駐車場において座席から降りる際、右足首を捻り、剥離骨折した。	54	30～ 49
10	19～ 20	配送先の敷地内にて、大型トラックの荷台から積荷降ろしの作業中、荷物を降ろすためトラックの荷台（高さ約1.5m）から地面に飛び降りた際に右足踵を負傷した。	42	50～ 99
10	11～ 12	大規模修繕工事のサッシ搬入時にサッシを留めているバンドを切って手で降ろす際、サッシが倒れてきたため、驚いて荷台から飛び降りた。その時にすでに荷下ろし済みのサッシで脇腹を強打した。	64	30～ 49
10	11～ 12	10tダンプ車で構内横荷作り業を行っていた。同工程を12～13回運行の荷卸し後荷台ベッセルを下げ忘れ、上げたままで走行し、アンローダー（移動式クレーン停止中）に接触させた。その勢いで運転席が上部に上り、アンローダーに衝突した。この事故で運転手は緊急搬送された。	62	1～9
10	10～ 11	2tトラックの荷台に乗って荷物を整理した後、トラック荷台（1m）の左横扉から降りる際にけがをした。荷台から降りる際、荷台横の着地点はコンクリートの段差になっており、段差に気付かず着地に失敗して、コンクリートの角に左足（付根と大腿）を強打した。	40	100～ 299
10	9～ 10	支店のホーム上で被災者が台車を後ろ向きに引いていたところ、トラックの荷台からフォークリフトが後退してきた。そのまま接触し、倒れた際にフォークリフトのタイヤが被災者の左足に乗り上げ、轢かれた。その結果、遠位脛腓靭帯損傷、左足関節脱臼腓骨幹部骨折となった。	49	50～ 99
10	15～ 16	配達先の構内に小型車（2トン車）を停車し、運転席より降りた際、地面の石に足が乗り右足を捻って負傷したものである。	59	50～ 99
10	16～ 17	荷物を積み込み、車庫に帰庫し、荷物の上にあがり、増締を行った。荷台から降りようとした際、足が滑り、胸部が荷物に当たって、肋骨を骨折した。	65	50～ 99



10	13～ 14	砕石場から建設現場へ砕石を配送中、砕石場の事務所へ伝票をもらおうと安全な場所へダンプを止めて運転席より降りようとして、左足を地面に着けた時、拳大の石があり、踏んで捻った。	52	1～9
10	10～ 11	2t冷凍車で配達途中の荷卸しの時に頭を強打したが、気づかずに次の配達先へ行く途中に頭が痛いのでさわると手に血がつく。どうしたのか記憶がなくいつもより2時間遅く帰って来た。頭蓋骨骨折・急性硬膜外血腫・外傷性くも膜下出血と診断された。本人の記憶が定かでないが、配送中に転倒したと思われる。	58	30～ 49
10	16～ 17	荷主様の所で積込前に荷台の片付けにあがっていて、車両後方から降りようとした時にバランスを崩し、状態が不安定な状態のまま、左足から着地した。	41	30～ 49
10	9～ 10	配送店駐車場にて、冷凍品をカートラに乗せようと庫内で準備していたところ、台風が強風でカートラが後方に動きだし、ドライブスルーに進入してきた来客車に当たりそうになったため、庫内から飛び降り右手で止めた。しかし、庫内から飛び降りた際、左足の着地が悪かったのか痛みがあり、左足甲（第3,4中足骨）骨折と診断を受ける。	39	30～ 49
10	17～ 18	積み込み作業を行った。積み込み作業を終了し、ウイングを背中にあおりの上に立ち、商品とあおりの間に緩衝材を入れていた処、バランスを崩しあおりから飛び降りた。着地後に左手を着いた処、左手手首を骨折した。	58	50～ 99
10	19～ 20	トラックの運転席から飛び降りた際、足を捻り負傷したもの。	49	100 ～ 299
10	14～ 15	集荷先で材木を荷台に積み込み、ラッシングベルトで積み荷を固定する際、ラッシングベルトの両端を荷台の床フックに掛けたが、片方が外れていた事に気づき、掛け直そうと体勢を変えた時にバランスを崩して地面へ転落し、左足の踵を強打し、骨折した。	58	30～ 49
10	9～ 10	お客様の所で荷卸中、荷台の少し奥に荷物があったので軽くジャンプして荷物を取って着地した時に、左足ふくらはぎを負傷したものである。	45	100 ～ 299

10	15～ 16	工場内で集荷中、製品が乗ってるシートパレットをショルダーで引き込み緩衝材とコンパネを入れて積み込む作業を繰り返して最後の製品を入れる時、3枚重ねたコンパネが本人の方へ倒れてきたので後ろ向きで荷台から飛び降りた際右足踵を負傷したもの。	51	100～ 299
10	7～8	当該日、荷卸しを行った。先ず、パレットに積んだ荷物（4パレット・400袋）をリフトで卸し、直積みした100袋をパレットに積み替える作業を行った。半分ほど積み替えたところで、パレットに乗せようと振り向いた時に、後ろの荷が崩れ押し出される様にトラックから転落し、その際トラックの煽りの角に右足下腿が当たり負傷した。	57	10～ 29
10	17～ 18	運輸駐車場で、トラックが配送から戻ってきたため、高さ30cm程のブロックに乗りトラックの車庫入れ誘導を行っている時に、誘導しやすい場所へ移動しようとブロックから飛び降りた際に、着地点に鉄パイプがあり、それに右足を突いて足元を救われ足首が90度に曲がった状態で地面に着地し骨折した。	32	30～ 49
11	9～ 10	工事現場土場において、当社11.3tユニック車を運転し、幅1.5m長さ6.0m厚さ約2cm重さ約1.3tの鉄板7枚をクレーン車を使用し、荷台に積み込んだ鉄板の上に上がりワイヤーで固定する作業中、足を滑らせバランスを崩した為、転落を避けようと約1.1m下の地面に飛び降りた際、地面に尻もちをつく状態で着地し、腰部を負傷したものである。事故後、車を運転し土場に荷降ろし作業を行おうとしたが、腰部が痛み携帯電話で会社に連絡し、会社より代わりの運転手が積み荷を降ろし、会社に戻り直ちに救急車を呼び病院へ行った。被災者はヘルメット・安全靴の着用及びクレーン・玉掛け等の作業免許は取得していた。	49	1～9
11	10～ 11	大型トラック（ウイング車）荷台の上で、パレットで運ばれた荷物を荷台に移し替えている時、片方の足をパレットに掛けていてバランスを崩し、荷台より飛び降りたようになった。着地が左側かかとかから落ちたため、踵の骨を骨折した。	43	10～ 29
11	9～ 10	給食室内において、ゆでた野菜を杓ですくい上げる作業をしていたところ、回転釜の中で波打っていた熱湯がこぼれてしまい、右足の甲にかかって受傷した。	38	30～ 49
11	17～	車庫にて、雨の予報があったので積荷のシートの張り具合の確認に行き、4tトラックの上に登りシートを張り直していたところ、足を滑らせ転落し腰を打っ	42	100～

	18	た。		299
11	4～5	商品を協力会社の車両に積み替えをし、荷台の扉を閉める際、隣で動き出した車両と扉の間に右手を挟まれた。	37	30～ 49
11	20～ 21	店舗敷地内駐車場にて、電話をしようとして携帯を見ながら歩いていたら、車止めの縁石に躓き転倒し、右足第3趾にひびが入った。	39	30～ 49
11	13～ 14	納品場所にて納品作業中、商品の入っているカゴ台車をパワーゲートに載せ途中まで下げたところで、先に跳ね上げ扉を閉めてからゲートの上に飛び降りた際、カゴ台車上部の縁に顎が当たり負傷する。	32	30～ 49
11	17～ 18	お客様構内において荷物を集荷中、自車両の荷台から前向きに飛び降り着地する際に右足首を捻り負傷したものである。	43	50～ 99
11	14～ 15	コンテナ積卸場所で、トラックに積んであるコンテナ内部の清掃を終え、荷台より降りようとコンテナに?まり右足を荷台、左足をサイドバンパー（高さ80cm）にのせた状態から、先に右足から地上に降り着地し続いて左足を着地しようとした時、踵から着地してしまい、左足踵を負傷した。	45	30～ 49
11	11～ 12	両手に荷物を持ってゲートから降りた際に、右足首を捻る。	19	30～ 49
11	15～ 16	新築住居の建築現場に、建築資材をトラックにて運び、荷降ろし終了後地面から露出していた排水パイプに気付かず、その上に右足を乗せてしまい、バランスを崩し、右足首を負傷した。	28	10～ 29
11	11～ 12	狭い現場内で長尺ボードを納入の際、柱に右薬指を強打。少し痛みはあったが、作業に支障はなかった為、作業継続し、次の日も出勤。痛みがひどくなってきたので、その後自宅療養し、後日病院へ、骨折と診断される。	26	30～ 49
11	14～ 15	トラック車庫にてトラックのボディーに付いているバックモニター用のカメラを点検するために、脚立（2m位）に登っていた。点検終了後、一段下りた時に、脚立がぐらついたので、そこから飛び降りてしまい、両足で着地した際、両足の踵を負傷した。あと、その勢いで転んでしまい、右肘、両手指も負傷した。	63	10～ 29
		荷下ろし中、ホーム（約1.5m）から荷物が落下したため拾おうと思い、トラック		100

11	2~3	のステップに片足を掛け約40cmの高さから降りた際、ホーム下の段差に気付かず右足を捻り、右膝前十字靭帯、側副靭帯を損傷したものである。	52	~ 299
11	15~ 16	積み荷のチェックを終え、トラックの荷台（地上約1.4m）から飛び降りて着地した時、左膝に激痛が走ったものである。	33	1~9
11	12~ 13	展望台パーキングにてトイレ休憩のため下車しようとしたところ、駐車場内のキャッツアイ（反射台）にて、右足を引っ掛けて、慌てて着地しようと右足首を捻って地面に着地したために骨折した。	44	30~ 49
11	11~ 12	事業所駐車場で大型ローリーから降りる時、ステップから足を滑らし左肋骨を強打し激痛が走った。	49	30~ 49
11	7~8	支店ホームにて、配達荷物の積み込み時、空のパレティーナを台車から車両に積み込む際、手袋を着用していなかった為、パレティーナの突起物に左手甲をぶつけた。	29	50~ 99
11	11~ 12	トラックの荷物を積み、荷締めするのに荷物の上に上がる時に、バランスを崩したので下に飛び降りた時に負傷した。	45	50~ 99
11	21~ 22	ホーム上において荷役作業中、リフトでの作業を終え、後ろ向きに降りた際少し足を伸ばすような形になり、地面についた右足に痛みを感じたものである。	51	10~ 29
11	6~7	会社敷地内で荷降ろしの準備中、ウイング車のウイングを上げボデーに昇ろうとした時足が滑り、左横腹をボデーの横側に打ちつけた。	61	30~ 49
11	20~ 21	2便発送作業中、クール室内投入口付近にてクールボックスを回送中、投入作業後クール作業員が回送していたクールボックスに左手甲が衝突。当日は報告後、退勤し、帰宅後、腫れがひどくなってきた。	29	100 ~ 299
11	10~ 11	配達先の事務所内階段を登る際、スリッパで躓き階段に膝を打ちつけ歩行が困難になり、救急搬送されたものである。	59	30~ 49
12	13~14	配達を終え、荷台整理の為ステップに乗り、荷物を整理していたところ、強風にあおられ、体勢を崩し右足から着地したが右足ひざをひねり、着地場所は雪の段差があったため右足ひざが内側に入り痛みを伴った。痛みが引かず、病院へ行ったところ、じん帯損傷と診断された。当日は暴風警報も発令されており、非常に	27	50~ 99

		強い風が吹いていた。		
12	10~11	倉庫内で、出庫作業をしていた際に棚の上の商品を脚立に上り取ろうとしたところ、バランスを崩し商品を抱えたまま脚立から尻もちをつく状態で落ち、腰を痛めた為、病院へ行ったところ第1腰椎圧迫骨折との診断を受けた。	45	1~9
12	10~11	構内にて、トラックの運転台を確認し、後ろ向きでステップに足を掛けており、左足が地面に着いた時、腰の部分に痛みが走った。ギックリ腰を起こしたと思い静かに事務所まで始動し、1時間位休んだが痛みが治まらない為、受診したところ負傷していた。	56	30~ 49
12	14~15	会社内の洗車場で、洗車中、荷台の横から降りた時、足首をひねったようになり、右膝に激痛が走り一瞬動けなかったが、あとは動けるようになったのでそのまま続けたが、翌朝、痛かったので病院に行った。	60	30~ 49
12	17~18	フォークリフトに乗り、構内にて作業中、フォークリフトをバックにて走行していたところ、マスト部分を下げ切らずに走行してしまった為、ドアを通過する際、ドア上部にマストが当たり、その反動で後ろへ投げ飛ばされ、左肩と腰を打った。	53	100 ~ 299
12	6~7	駐車場で4tトラックの荷台のシートを外し積荷の確認作業中に、運転席側のあおりに手をつき飛び降りたところ、トラック側面にかけてあったゴムに足がかかり、着地時に足を捻り右足かかとを骨折した。	49	10~ 29
12	12~13	職場倉庫内にて、高い所の大掃除を行っていたとき、電話が鳴ったために1.2m位の高さの位置から急いで飛び降りたところ、左足首に違和感を覚え、骨折が判明した。	50	30~ 49
12	23~24	イベント機械搬出作業中、積込終了後、トラックの荷台から地面に飛び降り着地した際、右足ふくらはぎに鈍痛があった。営業所へ戻り、降車すると、右足は地面に着けなくなり、歩行困難になった。	40	30~ 49
12	1~2	1階荷捌き所で、到着したロールボックスの整理をしている際、協力会社の運転手がロールボックスをトラックから引き出し、該当者の方向に強く押し出した為、ロールボックスが背中に当たり、頸部、腰部を捻挫した。	40	1000 ~ 9999

12	13~14	会社敷地内で、打ち合わせのため事務室から出て、作業中の従業員Aと立って打ち合わせをしていたところ、他の同僚Bから呼ばれた為駆けつけようとしたところ、他の同僚Cがいたため、避けてフォークリフトのツメを跨いで渡った。左足から踏み出し、右足を上げた際、フォークリフトの右側ツメにつまずいてしまい挫創を負った。なお、フォークリフトは作動・作業中ではなく、止めてあったものである。（本人転倒なし）	54	1~9
12	9~10	トラックの荷台で冷凍食品の積込中に足を滑らせ、トラックのサイドドアに右脇腹をぶつけて肋骨にひびが入った。	50	30~ 49
12	14~15	2段積みフレコンパックを荷卸し中、上段のフレコンをリフトで荷卸し後、上段部と下段部の間に敷いてあったコンパネ（ベニヤ板）をどけようとしたところ、強風が吹き、風にあおられてトラック荷台より地面へ飛んだところ、右足踵より着地し、骨折した。	68	30~ 49
12	7~8	車庫にて、積荷の点検のためウイングアオリを開閉していた際、アオリをロックするキャッチ部分を勢いよく手の平で押す様に閉じたとき、左手の平を損傷した。	64	10~ 29
12	6~7	4tトラックで生鮮食品を各店舗に配送する際、店で荷降し中にトラック後部にかけた足を滑らせ、パワーゲートとの間に左足の甲を挟まれて歩行不能となった。	61	30~ 49
12	1~2	荷物仕分け場で、ベルトコンベアとベルトコンベアの間のローラー上に荷物があつたため、右手で押し出そうとして右指を突いた。	22	300 ~ 499
12	2~3	2Fクール作業場にて、クールBOXの差し替え作業を行う際、左側を気にしてセットしようとしたとき、右側のBOXが少し前に出ているのに気づかず、右手が当たり、指を捻った。	44	100 ~ 299
12	15~16	終業後、会社内の洗車場にて大型トラックを洗車中、洗車台のステップを使わず飛び降り、転倒して負傷した。	54	100 ~ 299
		倉庫にてフォークリフトでパレット貨物を操作中、作業のため左足から降車した		50~

12	11~12	ところ、体を支えることができずに転倒した。左足左距骨陥没骨折と診断された。	26	99
12	7~8	カゴ台車を使い荷下ろし中に、空のカゴ台車2台をトラックまで動かしていたとき、台車の車輪がアスファルトの凹みに引っ掛かり、そのまま台車と共に倒れてしまった。	52	10~ 29
12	15~16	現場到着後、トラックのステップを使い降りていた際、地面に右足をついたと思 い、左足を離したところ転倒した。その際、地面に着いていた右足の下が段差で あり、全体重が右足にかかり捻って、耐えきれずに負傷した。	46	50~ 99

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)